

「春曉」(孟浩然)の訳詩

土岐善麿

春あけぼの　のうすねむり
まくらにかよふ　鳥の声
風まじりなる　夜^よべの雨
花散りけんか　庭もせに

〈出典『鶯の卵』(筑摩書房、一九八五年)〉

井伏鱒二

ハルノネザメノウツツデ聞ケバ
トリノナクネデ目ガサメマシタ
ヨルノアラシニ雨マジリ
散ツタ木ノ花イカホドバカリ

〈出典『厄除け詩集』(講談社、一九九四年)〉